

⑬ Int. Cl.

E 05 C 1/00
1/04

識別記号

B 8006-2E
D 8006-2E

庁内整理番号

⑭ 公開 平成4年(1992)6月25日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑮ 考案の名称 出口専用扉のロック装置

⑯ 実 願 平2-114301

⑰ 出 願 平2(1990)10月31日

⑱ 考 案 者 加 藤 育 朗 静岡県浜名郡可美村高塚300番地 スズキ株式会社内

⑲ 出 願 人 スズキ株式会社 静岡県浜松市高塚町300番地

⑳ 代 理 人 弁理士 木村 高久

㉑ 実用新案登録請求の範囲

主たる出入口を備えた建屋の出口専用扉に設けられ、上記出口専用扉を建屋から開成不可能にロックする出口専用扉のロック装置であつて、

上記出口専用扉もしくは上記建屋壁板の一方における建屋内方側に設置され、上記出口専用扉の開閉動作方向に対し略直交する面に沿つて進退自在に支承されたロックピンと、

上記出口専用扉もしくは上記建屋壁板の他方における建屋内方側に設置され、上記ロックピンの挿入されるロックピン嵌合孔を有するロックブラケットと、

上記ロックピンと上記ロックブラケットとの間に設けられ、上記ロックピンと上記ロックブラケットとの相対的な近接動作に基づいて、上記ロックピンをロック位置からアンロック位置へ移動させるカム機構とを備え、

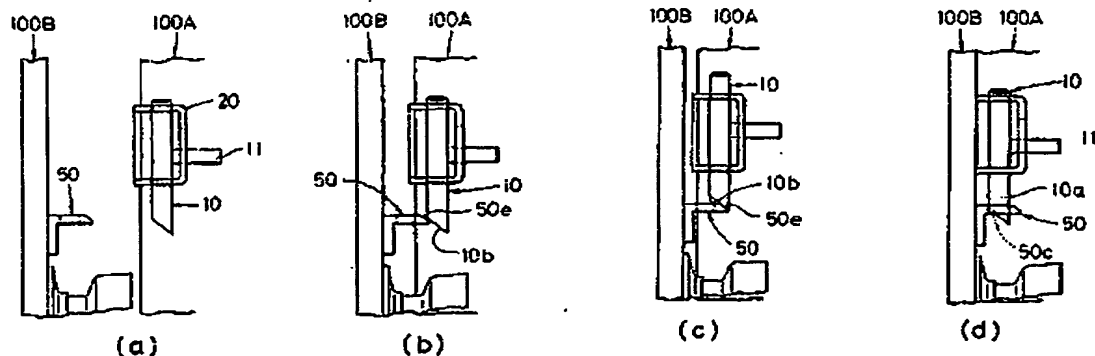
上記出口専用扉を開成状態から閉成する際、上記ロックピンの先端部を、上記カム機構の作用に

よつて上記ロックブラケットの縁部を乗り越えさせ、上記ロックピンの先端部を上記ロックブラケットのロックピン嵌合孔に挿入させることにより、上記出口専用扉を閉成位置にロックするよう構成したことを特徴とする出口専用扉のロック装置。

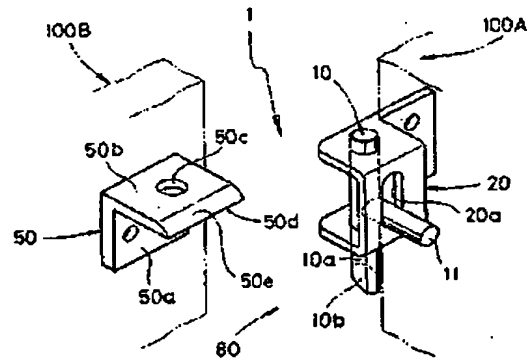
図面の簡単な説明

第1図 a, b, c, d は本考案に関わる出口専用扉のロック装置の動作態様を順を追つて示す概念図、第2図は本考案に関わる出口専用扉のロック装置の全体斜視図であり、第3図は塗装工場建屋における各出入口扉の設置態様を示す概念的な平面図である。

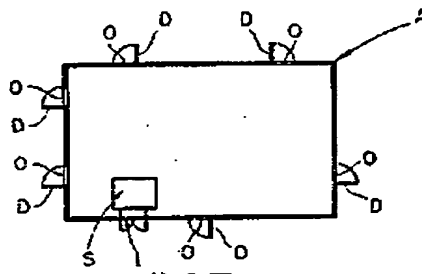
1.....ロック装置、10.....ロックピン、10b.....カム斜面、50.....ロックブラケット、50c.....ロックピン嵌合孔、50d.....カム斜面、80.....カム機構、100A.....建屋壁板、100B.....出口専用扉。



第1図



第 2 図



第 3 図